



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2010年6月 No.337
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2009~2010)
センテニアルクラブ会長 : 『Onward Centennial, again』
東京セントラルクラブ会長 : 『一つとなって Y M C A へ』
国際会長 : 『一つとなる力』
アジア会長 : 『夢みるアジア、愛するアジア』
西日本区理事 : 『すべてのいのちを大切に』
中西部部長 : 『元気はつらつ中西部』

クラブ役員	Officers
会 長	: 山中 秀男
副会長	: 新保 正秋
書 記	: 石津 雅人
会 計	: 中村 幸枝
メネット会長	: 山中 ちあき
Y 連絡職員	: 鍛治田 千文

Biblical Message of June

June Club Meeting

『評価・反省・EMC』

わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。
 <次頁に続く>

(ヨハネによる福音書 14 章 27-28 節)

6 月 第 1 例 会

日時: 2010年6月16日(水) 18:30~20:30
 場所: ホテルグランヴィア大阪

- 司会: 福永 嘉彦 君
- | | |
|--|----------|
| 1. 開会点鐘 | 山中 秀男 会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 聖句朗読 | 山村 利子 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 山中 秀男 会長 |
| 5. 今月の強調活動 | 石津 雅人 君 |
| 6. 晩餐 | 一 同 |
| 7. 卓話「社会ニーズを事業化し、仕事を通じて社会奉仕するービジネスモデル」 | 高橋 裕也 君 |
| 8. 「1分間スピーチ」今期を省みて | 全 員 |
| 9. 連絡・報告ニュース | |
| 10. 誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 11. 閉会点鐘 | 山中 秀男 会長 |

6 月 第 2 例 会

日時: 2010年6月23日(土) 18:00~20:30
 場所: 土佐堀YMCA会館

中西部会の食事の試食会(1,500円)も行います。

6 月お誕生日: 新保メネット(28日)

司会者は500円程度のお菓子をゲストの分も含めご用意願います。

例会担当

3班: 石津、谷川、中村隆、松浦の各メン、
 山村メネット

2009-2010年度 を振り返って

山中 秀男

昨年7月、センテニアルクラブの三度目の会長を拝命、船出しました。スローガンは前回の ONWARD CENTENNIAL に繋げて AGAIN を付けた。

最初のチャーター会長の時、1970年から8年在住したニューヨーク北部ウエストチェスター郡バプティスト教会で賛美歌リクエストの折、必ず所望していた ONWARD CHRISTIAN SOLDIER MARCHING ON で自分を奮い立たせていたのを思い出し新クラブの標語にした。

難しい契約交渉で萎えそうになった時、日曜日毎に大声で歌い応援歌にしていた。

28年前とは経済状況も自身周りの環境は異なるが、意気込みだけはあのSPRITでしょうと、AGAIN を付して気合を入れ直した。

クラブ運営の狙いは二つ、1: 会員増強と若返り、現状見れば明らかで、卓話は著名の人でなく現役のバリバリ、将来クラブを背負ってくれそうな若手に御願います。幸い20、30代の講師に恵まれ入会にも繋がった。

もう一つは 2: IT化 で、実際に見聞したオーストラリア、英国のY's は徹底している。幸い当クラブにはITスペシャリストが居られ、グリスケを始め、E-メールマガジンで成果が出ており、事務の省エネ、クラブ運営効率化、友情の深化に実を挙げて来、今後も継続して行きたい。

今後の課題として若年層対策に焦点を絞り、ビジター3回までの無料招待継続、会費補助制度の制定を考える必要がある。

最後に、今年度会員の皆さんから寄せられたご支援と友情に感謝します。有難うございました。

今回は新保正秋新会長です。

【クラブ統計 Statistics】

2010年5月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 19名	メ ン	16名	10名	5 月 現 金 切 手 現 金	5 月: 23,050円 累 計: 223,150円
例会出席 14名	メネット	7名	4名		
うちメーキャップ 0名	ビジター	2名	0名		
	ゲ ス ト	1名	0名		
出席率 73.7%	合 計	26名	14名		

5 月 第 2 例 会

日 時：2010年5月22日（土）13:00～17:00
場 所：京都・桂 山中邸

少し汗ばむなか、山中会長のご好意で、親睦を兼ねた例会を山中邸で行いました。約1時間の協議を行った後、広い庭で、参加者14人が持ち寄った品々を食べながら、語らいの楽しいつどいをもちました。高橋夫妻の長男、一ノ助君の走り回る、かわいらしい姿が私たちの心をなごましてくれました。



山中邸での第2例会



山中邸での懇親のひと時

「わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。『わたしは去って行くが、また、あなたがたのところへ戻って来る』と言ったのをあなたがたは聞いた。わたしを愛しているなら、わたしが父のもとに行くのを喜んでくれるはずだ。父はわたしよりも偉大な方だからである。」

イエスが十字架にかかる時の惜別の説教の一部です。聖霊を与える約束をしてくださいました。今年の西日本区大会が広島で開催されました。特に戦争が無くなり、その他貧困、飢餓、不況、差別がなくなり、世界中が平和であってほしいと神に願ひ、祈りたいと思います。

聖句選 コメント：山村 利子

（次回は、山田孝彦さんです）

5 月 第 1 例 会

と き：2010年5月19日（水）18:30～20:30
と ころ：ホテルグランヴィア大阪21階

少しわくわくした、26人の参加者が見守る中、金田亘中西部部長と山中秀男会長により、高橋夫妻の入会式がおごそかに執り行われました。裕也さんの「入会します」という力強い宣誓の後、会場内は暗くなり、祝福のキャンドルの光の輪が広がりました。全員が若い力に期待を込め、一言ずつ声をかけてゆき、高橋夫妻はニッコリと応えてくれました。



入会された高橋裕也メンと祐子メネット

福永さんより、岡村恒・大阪教会牧師が紹介され、牧師は高い識見から、「リーダーの育成～練られた品性を養う」と題し、現社会のキリスト教の教義の確立を説きました。

牧師は、60年代以降の人間中心主義の思想やニュー・エイジ思想から来る自然破壊や共同体の崩壊現象をあげ、真のリーダーのあるべき姿は何かを説きました。会場に配布された大阪教会のパンフレットを一例にあげ、「これを作成するのに、一人ひとりの力を引き出したのは牧師ではなく、神様です」と述べ、神の領域、キリスト教的リーダーシップを私たちに示してくれました。（中村 茂高）

報告事項

スペシャルオリンピックスのボランティアセミナーの開催に伴い、各クラブは個人参加で協力をするが、セミナーは必ず受けてほしい。

中西部会（9/18）講師は片平敦・お天気キャスター決定。弁当を第2例会で試食し決定する。飲み物込みで2,000円程度。5月末、チラシ作成。

2010～11年度毎月担当一覧

今後のスケジュール

7/31（土）中西部メネット会の交替引継式

（グランヴィアホテル大阪）

（中村 茂高）

西村隆夫さん(元センテニアルワイズ) 国際書記就任

私たちの国際ワイズメンズクラブは国際事務局(IHQ)をスイスのジュネーブにしています。現在の国際書記(ISG)はRoland Dalmas氏(ウルグアイ出身)です。彼の任期が近く終了。後任の選考があり、日本から応募した西村隆夫さんが選ばれました。近着のワイズメンズワールド誌も報道しています。彼は、大阪センテニアルのチャーターメンバーでした。仕事の関係から、東京に移り東京ファミリー・ワイズなど、東京で国際的クラブ設立に尽力しました。大変熱心なワイズマンです。西村さんおめでとう!

ワイズの国際書記には、従来世界のYMCAスタッフ経験者が任命されていました。レイマン出身者から選ばれるのは今回初めてです。ジュネーブに家族を伴って4年間駐在します。ワイズの事務所は、スイス・ジュネーブYMCAの中にあります。国際書記と女性二人の小さな事務所です。しかし、ワイズの国際議会の開催、YMCA世界同盟との連絡業務など、大変忙しい役職です。

私も世界YMCA同盟の常務委員、ワイズ国際議員などの任期中に何度も、同事務所を訪れましたが、みなさんも是非スイス訪問の折は立ち寄り激励してあげてください。(谷川 寛)

BF 切手集めの大切さを 再認識させてくれたカナダ代表

5月30日(日)大阪キャスルホテルでカナダからのBF代表の歓迎会が開かれました。当クラブから、松浦次期中西部長と私が出席しました。

最近、カナダのワイズ活動の情報が少なく、大変参考になりました。カナダはかつて、アメリカと同じく、大変活気がありましたが、最近アメリカ以上に衰退が目立ちます。カナダの西海岸は全滅に近く、東海岸で辛うじて活動が維持されています。今回のBF代表は、その東海岸、Nova ScotiaのSt. JohnクラブのThomas Brasil Grasse氏です。この地方は、例のロブスター(伊勢エビ)で有名です。同ワイズの所属するクラブは、なんと52名の会員を有し、25歳から91歳までの会員が加わって大変活発です。BF切手は、毎月トラック1台分に相当する切手を集めるそうで、同市にある大手企業の本社には、料金の支払いのためにカナダ全土からたくさん小切手が送られてきます。この封筒の使用済み切手をそっくり同クラブが頂戴するそうで、集めた切手を2名の専属の会員が、毎日切手の整理、販売に専従しているそうです。これが秘訣で、同クラブは、国際的ワイズのBF切手集めの実績では、常に世界一だそうです。

おそらくカナダでも、商品の購入、支払いの決済手段は、徐々にクレジットカードに移行していると思われそうですが、未だ、現金決済より、この小切手による支払いの比重が根強いものと思われま。私もカナダ、アメリカ在住時代は、銀行に当座勘定の講座を開き、小切手帳を常に持ち歩いていました。

最近日本では、メールやその他の連絡手段、決済手段の多様化から、郵便による切手の使用が落ち込んでいますが、ワイズの精神を忘れず、BF切手の収集の努力を続けようではありませんか?(谷川 寛)

5 月 B F 報 告

山田(50g) 中村茂(40g) 隅田(30g)
福永(20g) 谷川(20g) 田中、藤原(少々)
計 160g

Y M C A ニ ュ ー ス

早天祈祷会

日 時 6月18日(金)7:30~8:30

場 所 大阪YMCA会館チャペル

証 し 藤井道雄氏(元YMCAスタッフ・常議員)

今年度から指定管理を受けた「いきいきエイジングセンター」(大阪市北区)60歳以上で大阪市内に在住の方が利用できます。健康増進セミナー、いきいき水中運動、リラックソヨガ、歌声広場、写生を楽しむ等多くの講座があり、多くの講師がYMCAスタッフやYMCA関係者です。

不登校や発達相談が多く寄せられるようになり、開設したYMCA総合教育センター。(大阪YMCA国際専門学校内)当初はカウンセリングとセミナー主催を行っていましたが、発達相談をはじめから相談件数が毎月増えています。カウンセリング・発達相談・プレイセラピーや講師派遣を行っておりますので、気になるお子様がいらっしゃいましたらお問合せください。(06-6441-0988)

(鍛冶田 千文)

Club Activities (May, 2010)

On May 19, the club's May meeting was held at the Hotel Granvia Osaka with a total of 25 Y's men, Y's menettes and guests in attendance.

At the beginning of the meeting, President HIDEO YAMANAKA presided over the induction ceremony for Mr. & Mrs. YUYA & YUKO TAKAHASHI, both aged 29, the youngest members of our club. Mr. HISASHI KANEDA, governor of the Japan Mid-West District, and Mr. MO DAE-SUNG, service director in charge of EMC of the same District attended the ceremony. Welcome Mr. & Mrs. TAKAHASHI. Let's work for and enjoy the Y'sdom together!

With its emphasis on the "Leadership Training" this month, Y's man YOSHIHIKO FUKUNAGA outlined the meaning and purpose of the program.

Another highlight of the meeting was the speech by Rev. HISASHI OKAMURA of the Osaka Church. He spoke about how to train the leaders from Christian point of view.

We learnt a lot as he covered wide range of the topics, not only religious matters but the popular songs and even the Constitution of Japan.

Yen 23,050 was collected for our club's niko-niko (smiling) fund.

ニコニコ・メッセージ
【Messages from the Club Members】

ゲストからのメッセージ

本日はお招き頂き有難うございました。若いメンバーが加えられるクラブというのはそれだけの魅力がある証拠だと思えました。これからのご発展をお祈りします。

(岡村 恒 牧師)

高橋裕也君ご入会有難う、大阪センテニアルさんおめでとうございます。

中西部長 大阪高槻クラブ 金田 恒)

新会員、高橋裕也君(29 才)のご入会おめでとうございます。御クラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。

(EMC 主査 大阪クラブ 牟 大 盛)

会員からのメッセージ

高橋ご夫妻の入会おめでとうございます。クラブの活性化になります。これからのクラブ活動が楽しみです。

(石津 雅人)

高橋さん入会おめでとうございます。一緒にワイズメンズ活動を楽しみましょう

(大村 肇)

水曜日は毎週会議があり18時終了予定がいつも延びています。今日も遅れてしまってすみません。(鍛治田 千文)

高橋メン・メネット入会おめでとうございます。若いお二人の入会熱烈歓迎です。

(坂本 千春)

高橋さん入会おめでとうございます。必ず一緒にハワイへ行きましょう！楽しみにしています。

(坂本 哲朗)

センテニアルクラブに又々若いメンバー(高橋ご夫妻)をお迎えして大変嬉しく思います。メネット活動も若い力を得て益々元気に広がって行く楽しみです。

(隅田 恵子)

入会式を開いて頂き有難うございました。メネット会の方の活動にも参加させて頂けるよう時間を作っていただけたいと思います。よろしく願いいたします。

(高橋 祐子)

少しでも力になれるように頑張りたいと思います。ご指導宜しくお願いいたします。

(高橋 裕也)

今回も入会式をはじめ楽しい集いが持てて感謝です。

(田中 穰二)

若い高橋さんの入会心から歓迎いたします。先週、高槻クラブの例会にゲストスピーカーとして参加してきました。すばらしい例会でした。

(谷川 寛)

高橋さんご夫妻、おめでとうございます。厳粛なセレモニーでした。お二人は偉大な力を発揮されることでしょう。

(中村 幸枝)

お若い高橋様の入会式がありおめでとうございます。メン、メネットさん共々これからの御活躍をお祈りいたします。岡村先生有難うございました。

(福永 滋子)

高橋ご夫妻の入会をお祝いします。岡村牧師に卓話を頂いたことはなんと喜ばしいことでしょう。感謝！

(福永 嘉彦)

高橋さんご夫妻、ご入会おめでとうございます。キャンドルサービス、大変感激いたしました。若いお二人が今後クラブの中核となつて活躍されることを祈っております。

(藤原 正巳)

高橋夫妻ご入会おめでとうございます。大変嬉しいことです。山中会長による紹介も大変素晴らしいものでしたね。岡村牧師のお話から「神との関わりの中で人格が形成される」ということを学びました。感謝！！

(松浦 孝次)

高橋ご夫妻、入会おめでとうございます。かつ、有難うございます。岡村牧師のスピーチ大変有難うございました。

(三浦 直之)

我等のセンテニアルクラブに「若い青年」をお迎えできて私個人としてもクラブとしても誇らしく嬉しい気分です。クラブの前途もいよいよ元気になれることでしょう。

(山田 孝彦)

高橋ご夫妻おめでとうございます。共に歩めることを嬉しく思います。

(山中 ちあき)

高橋裕也さんの入会を心から感謝します。

(山中 秀男)

高橋ご夫妻、入会おめでとうございます。若い人に入会して頂き嬉しいです。ご活躍宜しくお願いいたします。

(山村 利子)

高橋ご夫妻のご活躍、お祈りします。

(中村 茂高)

京都市の歴史的意匠建造物に指定されている山中邸



後記

揺れに揺れ、鳩山内閣を退陣に追い込んだ普天間基地移設問題。沖縄が話題になる度に「私たちはつらい立場になる」と言っていた沖縄アメリカンスクール代表のセイヤー・ミドリさんの言葉を思い出しました。

最近届いた機関紙に、セイヤーさんの三男エディ君の文が掲載されていました。昨年高校を卒業し、同スクールに就職、今春、神学の勉強をするためにシンガポールに行くというお別れの挨拶でした。

その中に

「There is nothing new under the sun」

(先にあったことは、後にも繰り返され、日の下に新しいものは何もない)「私がこの学校の生徒であった時の自分の葛藤は、今もなお、生徒たちの中にある」

なんとも悲しい英語の諺の引用ですが、反米感情の沖縄でこれまで生きてきたエディ君の苦悩が、この言葉に集約されています。これまで彼は子どもたちのよい手本となるようがんばってきました。シンガポールへの旅立ちには、子どもたちにより精神的サポートができるよう、神学の道に進むという新たな決意が込められていました。

今夏、関西テレビ青少年育成事業団が主催し、沖縄のアメリカンスクールの子どものためのキャンプが予定されています。

10年前、当時9歳のあどけないと思っていた少年エディ君がこのようにたくましい青年に育ったのかと感慨深くあるとともに、沖縄の問題が話題にのぼる時、アメリカンの子どもの存在もけっして忘れてはいけないと思いました。

(中村 茂高)